

①ポップアップテント（緊急消防援助隊派遣に使用）

【現場活動】

- ・ 食事や着替えなど休憩時に使用
- ・ 住民やメディアの視線から解放

【宿营地】

- ・ 身体のケア
- ・ 睡眠時の環境改善
- ・ 感染防止対策

【近年の活動における問題】

熱海土砂災害 活動現場での食事、着替えなど身体のケアが長時間できず
メディア（ヘリを含む）の撮影による緊張感の続く作業
宿营地テント内でのパーソナルスペースの確保

能登半島地震 感染防止対策（感染者の隔離）
現場活動時のトイレ、食事、休憩
宿营地での身体のケア（シャワー等なし）

大船渡市林野火災 現場活動時のトイレ、食事、休憩
宿营地でのメディアの撮影防止
宿营地でのパーソナルスペース確保

【導入県内消防】

- ・ 大船渡市林野火災派遣での持参消防本部
横須賀市消防局・小田原市消防本部など



大船渡市林野火災での使用状況

②災害用携帯トイレ

震災等により、当町が被災し町内のライフライン（電気、ガス、水道）が停止した際、消防庁舎のトイレが使用できなくなった場合に使用します。消防部職員1週間分として2000個を4年間で導入する計画としています。また、緊急消防援助隊派遣時に現場活動時に持ち込み使用するため、便袋と凝固剤がセットになっているものとなります。



1日5回×58名×7日間=2030≒2000個